

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和3年5月20日(2021.5.20)

【公開番号】特開2021-52762(P2021-52762A)

【公開日】令和3年4月8日(2021.4.8)

【年通号数】公開・登録公報2021-017

【出願番号】特願2020-183046(P2020-183046)

【国際特許分類】

A 2 4 F 40/465 (2020.01)

H 0 5 B 6/10 (2006.01)

【F I】

A 2 4 F 40/465

H 0 5 B 6/10 3 3 1

H 0 5 B 6/10 3 7 1

【手続補正書】

【提出日】令和3年3月24日(2021.3.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 0】

この実施形態では、加熱素子130は、加熱領域113の第2の端部112から加熱領域113内に突出する。より詳細には、この実施形態では、端部部材140は、開口114から離れた本体110の端部に設けられる。この実施形態では、端部部材140は、摩擦又は接着剤などによって本体110の端部に取り付けられたプラグを含む。しかしながら、他の実施形態では、端部部材140は、本体110とは異なる形態を採ることができる、又は一体とすることができる。この実施形態では、端部部材140は、加熱領域113の第2の端部112を画定する。さらに、この実施形態では、加熱素子130は、端部部材140に取り付けられ、端部部材140から加熱領域113内に延在している。この実施形態では、加熱素子130の一部分は端部部材140内にあり、それは、加熱素子130と端部部材140との間をより頑強に接続する助けとなり得る。その代わりに、いくつかの他の実施形態では、加熱素子130は、加熱領域113に面する端部部材140の面に当接してその面から延在することができる。